NEWS RELEASE

学校法人 立命館

2026.10.30

報道関係者　各位　　＜配信枚数1枚＞

関西発の宇宙分野スタートアップエコシステム形成へ
立命館の研究・人材育成・産学連携を結集
文部科学省「次世代オープンイノベーション事業」に採択

学校法人立命館（所在地：京都府京都市、総長：仲谷善雄）は、このたび、文部科学省が公募する「次世代オープンイノベーション事業」に採択されました。本学園の起業・事業化支援プラットフォーム「Ritsumeikan Impact-Makers Inter X(cross)」（略称「RIMIX」）を基盤とした採択事業「RIMIX-SX スタートアップ創出 HUB」を通じて、宇宙分野の研究成果の社会実装や事業化を促進するとともに、関西における宇宙分野スタートアップの創出・成長を支援するエコシステムの形成を目指します。

「RIMIX-SX スタートアップ創出 HUB」（プロジェクトリーダー：中須賀真一教授）では、宇宙分野のスタートアップに対し、企業やベンチャーキャピタル、金融機関などとの連携によるオープンイノベーションの推進、事業化や資金調達支援、研究開発に必要な施設・設備の提供、戦略的知財マネジメント支援などを実施します。これらの取り組みを通じて、宇宙技術を活用した社会課題の解決と新産業創出に貢献します。

立命館は、これまで「RIMIX」を通じて小学生から大学院生までを対象としたアントレプレナーシップ教育や研究シーズの事業化支援、スタートアップ投資などを推進してきました。また、立命館大学宇宙地球探査研究センター（通称「ESEC」）、宇宙戦略基金採択事業「月面フロンティア SX 拠点」、2028 年 4 月に開設予定の大学院「宇宙地球フロンティア研究科（仮称）」※など、宇宙分野の教育・研究基盤の整備も進めています。これらの強みを生かし、人材育成から研究、事業化までを一体的に推進することで、関西発の宇宙分野スタートアップエコシステムの形成に取り組みます。

※本研究科の設置計画は予定であり、今後、内容に変更が生じる可能性があります。

■仲谷善雄　学校法人立命館　総長　コメント

このたび、文部科学省「次世代オープンイノベーション事業」に採択いただいたことを大変光栄に思います。本事業は、宇宙分野における研究成果の社会実装を加速し、新たな産業や価値の創出につなげる挑戦です。立命館は、これまで培ってきた教育・研究・産学連携の力を結集し、人材育成から研究、事業化までを一体的に推進してまいります。宇宙に関わる分野でも、関西から世界に挑戦するスタートアップが次々と生まれる環境を構築することで、社会課題の解決と地域経済の発展に貢献するとともに、「社会共生価値を創出する次世代研究大学」の実現を目指します。

■中須賀真一　立命館大学　学長特別補佐・プロジェクトリーダー　コメント

世界の宇宙開発は、いま政府主導から民間主導へと大きく移行し、スタートアップがイノベーションを牽引する時代を迎えています。一方で日本では、優れた技術を持ちながらも、それを事業化し産業へと発展させていく仕組みづくりが重要な課題です。本事業では、立命館が有する研究力や人材育成機能に加え、企業、投資家、金融機関との幅広いネットワークを生かし、宇宙分野のスタートアップ創出と成長を支援します。関西から成功モデルを生み出し、後に続く挑戦者が集まるエコシステムを構築することで、日本の宇宙産業の発展に貢献していきたいと考えています。

本リリースの配布先：
京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先
学校法人立命館広報課　担当：中嶋　TEL.075-813-8300　E-mail.r-koho@st.ritsumei.ac.jp